

事例を通して学ぶ、チーム医療に必要なスキルセット ～チーム医療を科学的に捉えてみよう～

Team
Science

Psychological
Safety



Social
Sensitivity

Emotional
Intelligence

司会：調 憲（群馬大学大学院医学系研究科総合外科学講座 肝胆膵外科分野）

下村昭彦（国立国際医療研究センター病院 乳腺・腫瘍内科）

基調講演／ディスカッサント：上野直人（テキサス大学MDアンダーソンがんセンター）

ディスカッサント：

飯原大稔（岐阜大学医学部附属病院 薬剤部）

入江佳子（筑波大学附属病院 総合がん診療センター）

田中和美（群馬大学大学院医学系研究科 医療の質・安全学）

勝見重昭（群馬大学医学部附属病院 薬剤部）

角田明美（群馬大学医学部附属病院 緩和ケアセンター）

「がんチーム医療」は、2001年JSCO（広島）において、Japan TeamOncology Program(J-TOP) 設立者でもある、上野直人がチーム医療のあるべき姿を提示し、その後広く浸透してきました。チームの形成は、複雑化するがん医療においては必須である。また、更に高齢化が進む日本社会において、限られたリソースで、増加するがん患者に患者中心の医療を提供するためには課題は多くあります。

課題解決には、新しい多職種ケアのトレンドである、「チームサイエンス」のアプローチを取り入れることが必要です。

本セッションでは、事例を取り上げ、日常臨床の場で活用できるスキルについて、登壇者、参加者とともにディスカッションします。

会場・Webでご参加の皆さまは、スマートフォン、タブレット、パソコンなどで、右のQRコードより、アンケートシステム（Slido）にアクセスしてご参加下さい。👉
ご質問は、Q&Aのタブにご入力下さい。

Information

案内Movie



アンケート参加

